

ブリスベン訪問団と市内数カ所で交流を行いました

お互いの絆をより深めることができた4日間でした

習志野市とオーストラリアのブリスベン市は「湿地の保全と鳥の保護に努める」ことを目的に提携をしており、毎年相互に訪問してきました。新型コロナウイルスのまん延により中止となっていました。10月28日(土)から31日(火)までの4日間、4年ぶりにブリスベンより訪問団15名が習志野市を訪れました。

初日、セレモニーを行い、自己紹介、挨拶のち「翼に愛を」を合唱しました。セレモニーではNIA吉村会長よりご挨拶をいただきました。午後はボランティアとの交流で、野鳥観察やよしず体験を行い、フォトフレームの作品を協力して完成させました。

2日目はジュニアレンジャーとの交流と湿地交流フォーラムを行いました。サプライズで宮本市長の来館があり、ブリスベン訪問団から記念品が贈られました。湿地交流フォーラムでは、意見交換を行うことが出来ました。

3日目は谷津南小学校3、4年生との交流です。訪問団は児童の研究発表に耳を傾けていました。通訳にNIAより2名の方にご協力いただきました。

旗本正巳(谷津干潟自然観察センター所長)

最終日は、近隣施設を巡るバスツアーを行い、最後にさよならパーティーを行いました。そこでは初日に作成したよしずのフォトフレームに4日間の交流写真を貼り、披露しました。フォトフレームはその後、観察センター内のブリスベン交流コーナーに飾ってあります。

習志野市役所、習志野市国際交流協会、Y&B湿地交流協会、センターボランティアなど多くの方々におもてなし、通訳、イベント運営等に協力いただきました。お互いの絆をより深めることができた4日間でした。



谷津干潟自然観察センターで訪問団の皆さんと

谷津南小学校がブリスベン訪問団をお迎え！

10月30日(月)、オーストラリアのブリスベンから13名の訪問団が谷津南小へやってきました。歓迎会は10時から体育館で開かれ、3年生と4年生が花のトンネルで13名の方々をお迎えしました。訪問団紹介のあと、スクリーンを使いながら、4年生は干潟について調べたことを日本語と英語で発表。3年生は、習志野市の公園や特産物を紹介。もちろんこちらでも日本語と英語で。

訪問団からは、この発表のために一所懸命

湯浅まさ子(通訳ボランティア)



児童から贈られた鳥の絵を見せる訪問団の皆さん

努力したことにとっても感銘を受けたと、異口同音の感想をいただきました。最後に、訪問団の皆さん一人ひとりに、児童たちが描いた鳥の絵をプレゼント。訪問団の中には感激して涙している方もいらっしゃいました。

私はボランティア通訳として参加しましたが、児童たちが大勢の前で、しかも英語を使いながら発表をする姿を見て、ちょっと明るい未来を見たような気がしました。



体育館での児童たちの研究発表